

中学校PTA

広報

ふし

56.7.25

No.323

ふせげ 青少年非行を!

愛の呼びかけパレード 吉原本町で





限りある貴重な資源

毎日の生活と生産活動を支える地下水

私たちの生活に欠かすことのできない水。

この水は、すべて地下から汲みあげられています。

炊事・洗たく・入浴などの生活用水はもちろん、工業用水・農業用水なども……。

富士山からの豊富な地下水は、私たちのまちを「工業都市」として発展させました。

このように「地下水」は、私たちの生活から切り離すことはできません。

8月1日から7日までは「水の週間」です。

これを機会に「地下水」について考えてみましょう。

地下水に海水が…

現在、市内での地下水汲みあげ量は、1日平均で上水道が8万5,600立方メートル、工業用水が104万2,000立方メートルです。

このうち、上水道については100％、工業用水については70％を地下水に頼っています。

市内の地下水は、通産省が昭和40年に実施した「地下水利用適正調査」によると、富士山水系(浅層・深層)、愛鷹山水系、富士川水系、潤井川水系の4つに分けられます。

各水系の地下水量は、右図のとおりです。

これらの水系による地下水の量は、

1日になんと127万5,000立方メートル。

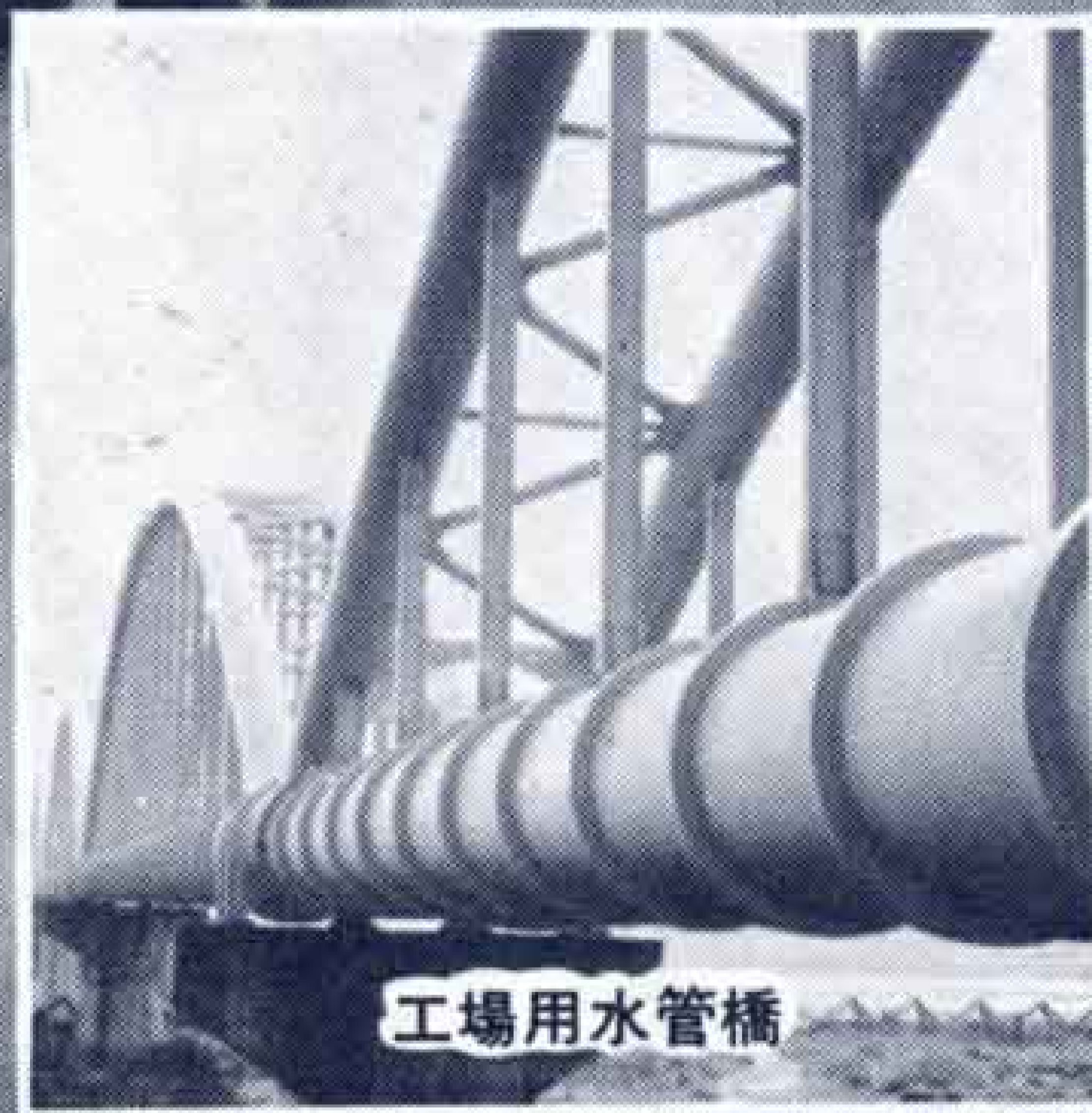
そして、この位なら汲みあげても安全だろうと思われる「安全揚水量」は、1日80万立方メートルとされています。

しかし、昭和30年後半からの高度経済成長に伴う工業の発展、都市化の進展は、ますます地下水の汲みあげを増大させました。

そのため、地下水の水圧が低下し海

市内の地下水系

地下水系	流動量 ^{万m^3}	安全揚水量 ^{万m^3}
富士川左岸	195,000-	136,000-
潤井川	121,000-	85,000-
北部富士山体I	735,000-	514,000-
愛鷹山体	92,000-	64,000-
富士山体II	132,000-	91,000-



工場用水管橋



勢子辻少年自然の家

旧勢子辻分校が研修施設に

青少年の野外活動など

今年の3月に廃校となった勢子辻分校が、青少年の宿泊施設として利用できるようになりました。

名前も富士市立勢子辻青少年の家と変わりました。

勢子辻青少年の家は、愛鷹山のふもと、標高700メートルに位置し、自然環境に恵まれているので、研修や野外活

動にもってこいです。

宿泊人員は、50人から60人位です。

使用料は、市内の青少年が1泊20円、大人が80円です。

食事は、自炊になります。

申込み先は、市立少年自然の家です。 ☎35-1697

水が逆流する「地下水障害」が発生しました。

昭和35年、田子浦港附近に塩水化した井戸が発見され、それ以後、年々拡大し、昭和48年ころには県道・沼津線の北側まで、塩水化の汚染地域が広がっていきました。

工業用水を水源転換

こうした、地下水障害防止に対応するため、昭和42年「岳南地域地下水利用対策協議会」が設立され、地下水の自主規制が行われました。

また、昭和46年には県条例によって、法的な規制も受けるようになりました。

昭和47年に県が行った立入調査によると、市内の地下水採取量は1日140万立方メートルで、安全揚水量の80万立方メートルを60万立方メートルも上回っていることがわかりました。

この地下水過剰汲みあげを減らす方法として、日本軽金属富士川発電所の放水を利用した「東駿河湾工業用水道」への水源転換が行われることとなりました。

第一次転換は、昭和50年2月に57社26万立方メートルが行われました。

それ以後、現在までに86社31万立方メートルの水源地転換が行われ、同量の地下水が削減されました。

こうした水源の転換計画は、全国でも初めての試みで、実績は高く評価されています。

水源転換計画により約31万立方メートル

の地下水が削減された結果、地下水位は徐々に上昇しはじめ、また塩水化も一応減少の傾向をみせはじめました。

しかし、依然として1日約100万立方メートルの地下水が汲みあげられているため、今後さらに地下水の削減が検討されていきます。

また、現在設置されている59カ所の塩水化観測井戸と4カ所の地下水位観測井戸によって監視を続け、さらに監視体制を強化していきます。

今後、各井戸に「水量測定器」を設置し、地下水の汲みあげ量を正確に把握していきます。

合理的な利用を

生活水準の向上や産業経済の進展は、水需要をますます増大させます。

富士市では、「水資源」の大部分を地下水に頼っていますが、地下水は決して無尽蔵にあるものではありません。無計画に利用すれば、再び先のような「地下水障害」が引き起こされます。

私たちが使っている上水道、すなわち「生活用水」は、100％地下水を利用しているのが現状です。

しかも、「地下水源」に代わるダム等の建設は、建設適地、工事費等の関係で困難な状況にあります。

そこで、私たち一人ひとりが節水をはじめ、合理的な水の利用に務めなければなりません。水は、「有限で貴重な資源」です。



江戸時代末期のころの地図を見ながら、当時の村の状況や川の様子を説明する井出源一郎さん（81歳）
（今泉水の上町）

豊富な湧水が

田宿川は、最近、湧水が増えてきたね。一時期は水が減って干上がった状態だった。

昔、ここはきれいな水がたくさん流れていて、田へ水を引いたり、生活用水としていたんだよ。多分、湧水が豊富なため、土手をつくり、川として、生活するために使ったのでは……。

子どものころは、よくここで泳いだり、魚をとったりしたもんだ。



中央図書館の下 田宿川



吉原市民会館ギャラリー

吉原市民会館 富士文化センター に市民ギャラリー

日本画と洋画38点を展示

吉原市民会館と富士文化センターのロビーに、市民会館ギャラリーができました。

吉原市民会館には、日本画17点、富士文化センターには、洋画21点が展示されました。

展示されている作品は、市民の皆さんが応募した作品と市美術展の入

賞作品で、いずれも力作ばかりです。

作品の展示期間は1年間です。

市民会館の荻野館長は、「両館に市民会館ギャラリーができたことで、今までとは違った楽しみ方ができるとおもいます。また、市民文化を高めるのにも役立つのでは……」と話していました。

議長に遠藤松吉氏

副議長には佐野好夫氏が

6月定例市議会最終日の30日、正・副議長の改選が行われ、議長に遠藤松吉氏、副議長に佐野好夫氏が選ばれました。なお、各委員会の正・副委員長も次のように決まりました。



議長
遠藤松吉氏



副議長
佐野好夫氏

「新しい地方の時代に対応できる市議会のカジ取りを目ざしたい」また「行政との調和を図りながら、福祉の向上に努めたい。」と、議長としての抱負を熱っぽく語ってくれました。

議員になったきっかけは、「町内会や、区の役員等、地域ボランティア活動を務めるなかで、多くの人に推され、その声を行政に生かしたい…」と思ったからだそうです。

趣味は、スポーツ観戦と読書。

市内唯一のコミュニティ推進会を発足させた立役者でもあります。

住所は広見東本町6-21。現在、奥さんと2人家族、66歳、市議6期。

「議長の補佐役として、市民に信頼される議会、また、活力ある議会にしたい」と語ってくれました。

議員になったきっかけは、「区長当時住民の意見をもっと市へ反映させなければ…」と思ったからだそうです。さらに、「弱い人、困っている人の為に役立てば……。これが私の信条です。」とにこやかに話してくれました。

趣味は、和歌・盆栽・カメラ・野球など、多種多彩。

住所は、横割5丁目1-1。奥さん、長男夫婦、次男、孫の6人家族。

60歳 市議6期。

常任・特別委員会 の正・副委員長

- ◇総務企画委員会
委員長 前田徳治 副 前島貞一
- ◇文教民生委員会
委員長 小林大八郎 副 山下雄司
- ◇環境経済委員会
委員長 荻野一郎 副 関 勝雄
- ◇建設水道委員会
委員長 松本貞彦 副 金森 勲
- ◇国道バイパス特別委員会
委員長 勝亦久次 副 大塚 登
- ◇公害対策特別委員会
委員長 加藤秀治 副 影島嘉彦
- ◇総合運動公園建設特別委員会
委員長 菊池正英 副 渋谷正行
- ◇地震対策特別委員会
委員長 藤田章吾 副 合志富男
- ◇海岸侵食対策特別委員会
委員長 高木 勲 副 八木 敬
- ◇市立中央病院拡充整備特別委員会
委員長 外山義一 副 菊池継男
- ◇議会運営委員会
委員長 加藤昌一 副 服部 弘
(副は、副委員長、敬称略)



図書館の利用時間を延長して

(おたずねします)

市立図書館の開館日と時間ですが、勤労者でも十分利用できるように次のことをお願いします。

1. 祝日も開館してほしい。
2. 開館時間を午後6時まで延長してほしい。

(一市民)

(おこたえします)

常日頃、図書館をご利用いただきありがとうございます。

ご提言のことにつきまして、次のとおりお答えします。

1. 図書館は、土曜、日曜(月末図書整理日を除く)も共に午後5時まで開館していますので勤労者の皆様も十分利用していただけるもの

(4)

と考えられます。また規則により、1人3冊、2週間の貸出し制度があり、読書能力がある人には5冊またはそれ以上ご要望により貸出すこともできますのでご利用ください。

2. 開館時間の延長については、以前午後7時まで開館したことがあります。しかし午後5時以後の在館者、貸出者はほとんどありませんでしたので中止いたしました。現状での考え方は以上のとおりです。ご理解をお願いいたします。

(図書館)



市内で六番目の消防分署、富士見台分署が完成。七月七日落成式が行われました。

建設場所は、富士見台一丁目。総事業費約八千三百万円がかけられました。

同分署の対象地域は、富士見台団地、今泉北部、大淵ほか、原田、吉永の一部です。

今後、対象地域内で火災が発生した場合、いち早く消火態勢を取ることができそうです。

この富士見台分署建設にあたっては、今まで、同団地内には「公共の建物は建設できない」という建築協定がありましたが、住民全部の賛同を得ることによって建築協定を改定しました。

富士見台に消防分署が完成

半径2キロ以内は、5分以内で到着

富士見台分署には、分署長以下13人の職員を配置します。

建物は、鉄筋コンクリート造り2階建て、延床面積377平方メートルです。水そう付消防自動車一台を配備。

分署が建設された富士見台団地は、現在、1,800世帯6,200人が住んでいるマンモス団地で、周辺には、神戸・原田・吉永地区があります。

この分署が完成したことによって、同団地及び周辺地域の防災態勢がよ

り強化されたこととなります。

分署を中心とした半径2キロ以内は、5分以内に消火活動が可能となりました。

「消火は初めの5分」といわれるように、初期消火が最も大切です。

富士見台地区の佐野茂夫連合町

内会長は、「このような立派な消防署ができて大変うれしく思います。場所的にもよく、団地に住む人たちの50歳は、この分署の前を通勤や通学で通るので、防火意識の向上にもつながるでしょう」と喜びの感想を話していました。

しかし、いくら立派な消防署ができて、火災を出すのも防ぐのもあなたの心掛け次第です。



佐野茂夫さん

グループ訪問④

美しい発声をめざして

コールブーケ富士

空家の小さな民家に不似合いなグランドピアノの前で、指導の小塚寿子さんのキビキビした声のとぶ。

さっきから呼吸法や発声練習ばかり続いて、なかなかコーラスが始まらない。それもそのはず、美しいハーモニーを特色としているからだ。「腹式呼吸はよい声を出すだけでなく、内臓にもいいし、喘息気味の人だって治ってしまうのヨ」

先頃、県内の大きな発表会に初出演し好評を得たこともあってか、話す声まで明るい。

昭和48年に伝法小PTA活動から独立して8年。吉原・今泉の女性も加わって、週1回の練習が地道に続いている。

この秋には市文化祭と県芸術祭に



ピアノを囲んで発声練習

出演しようと、20人の団員がはりきっている。もう少し団員を増やしたいという。初心者大歓迎とのこと。

連絡先 ☎51-5261 木村とし宅

9月1日火曜日



市民総ぐる

午前9時警戒宣言発令

今年も9月1日(火)に全市一斉に防災訓練を行います。

今回の訓練は、地震防災計画に基づいて、自主防災組織が主体となって、地域の実態に即した訓練を市民総参加で行います。

訓練想定は

昭和56年9月1日(火)午前9時00分、内閣総理大臣は、地震に関する「警戒宣言」を発した。

同日、午前10時30分(数日間経過を想定)駿河湾を震源とするマグニチュード8の地震が発生、県内各地

では、震度5~7の地震となった。

このため、市内各地で家屋の倒壊、火災の発生、道路の陥没、橋りょうの落下、津波による浸水及び山間部での山くずれ等の被害が発生、死傷者も多数生じた。また、電気・ガス・水道・電話等の施設についても、大きな被害が発生し、交通機関も、まひ状態となった。



炊出し訓練

市スポーツ祭相撲大会

の出場者を募集

- ◇とき 8月23日(日)
- ◇ところ 吉原公園相撲場
- ◇対象 市内に在住、在勤、在学の人
- ◇種目 幼児、小、中、高、一般個人及び団体戦
- ◇申込み 8月20日までに市内厚原東2276-1 田中全(☎71-3594)方へ
- ◇問合せ 市スポーツ振興課 ☎51-0123 内線457

8月の歩く会

- ◇とき 8月23日(日)(雨天の場合は30日)
- ◇集合場所 富士駅南口階段下西側 9:00集合
- ◇コース 富士駅南口→富士川堤防→富士川バイパス鉄橋歩道→航空協会滑空場見学→蒲原海岸→新蒲原駅(解散)
- ◇もち物 弁当、水筒、雨具
- ◇問合せ 市スポーツ振興課 ☎51-0123 内線457 だれでも参加できます

健康大学受講者を募集

- 市健康課は、市内に居住する18歳以上の男女を対象に、健康大学講座を開きます。
- 正しい医療の受け方と体のバランスのとれた健康づくりに、みなさん受講してみませんか。
- ※詳しくは、7月5日発行の「広報ふじ」をごらんください。
- ※問合せ 市健康課 ☎51-0123 内線316

みの防災訓練

—自主防災会で行う訓練—

次の訓練項目は、一例を示したものです。これを参考に地域の実情にあった訓練項目を設定し、より効果

的な訓練を行ってください。

市は、警戒宣言発令と地震発生時に広報無線でサイレンを3回つつ鳴らします。

訓練項目	訓練内容
非常招集 情報の伝達	警戒宣言の発令により非常体制をととのえる 情報班は、警戒宣言の発令及び家庭の防災対策実施の呼びかけを行う
● 家庭の防災対策	地震発生に備え各家庭では、火気の始末及び什器類の転落防止、電気ガス等の安全確認、風呂水の吸みおき、食料、飲料水等の非常持出品の準備を行う
防災機材の点検等 避難誘導 避難状況の通報等	防災資機材の点検整備をし、予め定めた場所に配置する 避難誘導班は消防団員と協力し住民を避難場所へ誘導する 避難誘導班及び情報班は、避難人員、避難状況を市地区班に連絡するとともに避難生活維持の訓練にあたる
津波対策等	市地区班より津波監視要請を受けた自主防災会は水防団及び消防団に協力し津波監視にあたる。津波確認情報を市地区班に通報する
初期消火 救出救護	消火用資機材により初期消火活動を行う 救出救護班は、負傷者の救出、医療救護施設への搬送及び軽傷者の応急救護にあたる
避難誘導	火災延焼危険地域の避難誘導班は、消防団員と協力し住民を避難場所へ誘導する
炊出し等	給食給水班は、り災者に対し、ハイゼックスによる炊出しや飲料水の確保にあたる
● 支援要請	自主防災会は、災害対策本部に対し、地域で予想される被害について、支援要請を行う
被害状況の把握 講評	情報班は、地域の被害状況を市地区班へ通報する 自主防災会の会長は、会員に対し講評を行う

社会保険等の被扶養者 認定基準がかわります

- (1) 65歳以上は、年収120万円未満
(厚生年金の障害年金受給者は、年齢に関係なし)
- (2) (1)以外の方は、年齢に関係なく
年収80万円未満

上記に該当する人は、事業所などへ認定の相談をしてください。この基準は、国の定めたもので、事業所間などで異なることはありません。

郵便局だより

- ◎転居されるときは、郵便局にも転居届（用紙は郵便局・市役所市民課に備え付けてあります）を出してください。
- ◎表札には、家族全員の名前を書いてください。
- ◎あて名及び郵便番号は明確に書いてください。
- ◎9月12日まで「私のアイデア貯金箱」のコンクール作品を募集します。

婦人夏期大学

◇とき 8月22日(土)・23日(日)受付9:00

◇ところ 富士文化センター

[22日]

10:10~12:00「ダメな子はいない—どこまでも子どもを信じて—」

篠ノ井旭高校長 若林繁太

13:00~14:40「女が生きる世界」

京都府立大教授 寿岳章子

[23日]

9:30~11:00「書くということ」

児童文学者 吉田とし

11:00~12:00富士市連合婦人会の歌

13:00~14:40「日本人と結婚」

早稲田大学名誉教授 暉峻康隆

※入場整理券が必要です

富士ハイツに

プールが完成

市内大淵、富士ハイツに建設中のプールがこのほど完成し、8月1日オープンします。みなさんご利用ください。

プールは、大人用が25m×4コースで、子ども用は25m×4m幅です。

他に幼児用プールもあります。

※入場料

一般者 子ども150円 大人300円

宿泊者 子ども100円 大人200円

建築確認手数料が

かわります

建築確認申請手数料が8月1日から改正されます。

※詳しくは 市建築指導課 ☎51-0123 内線285へおたずねください。

個人事業税第1期の納期は

8月17日～31日です

お忘れなく

富士財務事務所



富士川緑地公園

使用の申し込みは
市スポーツ振興課へ
使用日の2ヵ月前から受付ます。



いい汗流そう

富士川河口の河川敷に、田子の浦港のヘドロをパイプ輸送し、乾燥させ埋立てて造成した富士川緑地公園。

広さ33万4,000平方メートルの中にはソフトボール場、球技場、児童公園、少年サッカー場、1周625メートルのサイクリングロードなどがあります。

市民のみなさんの間に、体力づくりのためのスポーツが盛んになっているきょうこのごろです。

休日にはソフトボールをする人や、

親子づれでたいへん賑わっています。

みなさんもお弁当を持って、家族ででかけてみませんか。

太陽の日差しを浴びて、いい汗を流したあとは、駿河湾からの風もさわやかに感じられます。

スポーツ公園として、県下屈指の面積を誇る富士川緑地公園ですが、今年度以後も造成工事をすすめ、施設の充実をはかっていきます。

表紙のことば



荒田島152の1
小林千香子さん
44歳

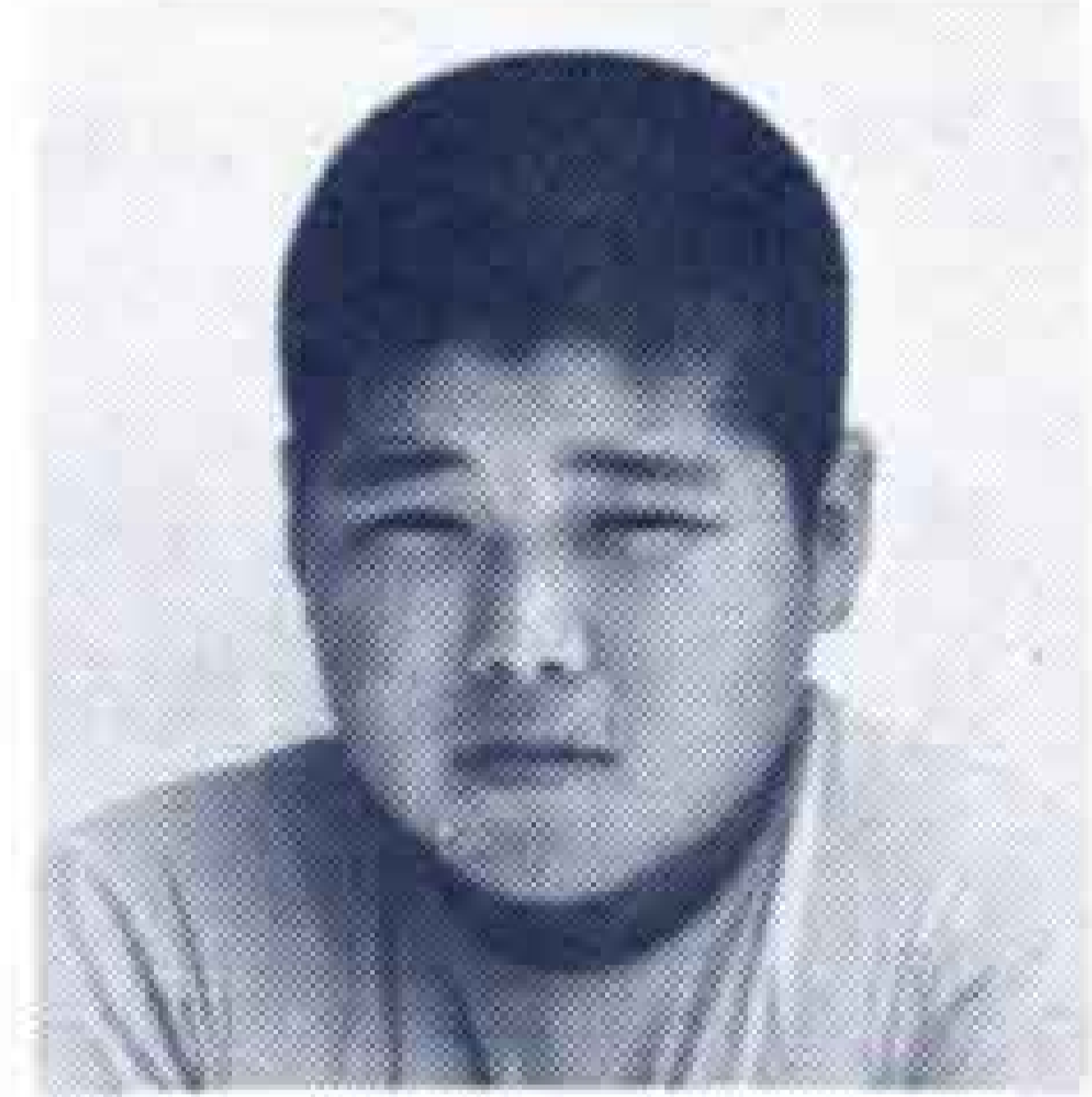
市教育委員会は、各種団体と7月11日「青少年の健全育成、地域の環境浄化・愛の呼びかけ運動」のパレードを吉原本町から伝法公民館まで行いました。

青少年を非行から守り、社会を明るくしましょうと道行く人に力強く訴えました。

この日、愛の呼びかけを行った、小林千香子さんは「市民一人ひとりが協力して住みよいまちに…」と語ってくれました。

ぼくの夢わたしの夢

スキーヤーになりたい



吉永小六年
鈴木啓義君

ぼくの夢は、スキー学校のインストラクターか、山岳パトロール隊員になることです。

ぼくがスキーを始めたきっかけは、もう三・四年前のことですが、夏山に父とのぼり、初めて夏スキーを見たときからです。今ではスキーを自由にあやつることが出来ます。

来年は、バッチテストで、まず3級をとり将来にそなえます。スキーのすばらしさは、スピード感です。

考古学者になりたい



吉永小六年
山本のり子さん

私の夢は、考古学者になることです。社会で縄文式土器や古墳の勉強をしました。私たちの富士にもたくさん古墳があることがわかりました。

この前テレビで、エジプトのツタンカーメンの墓とか、エジプトについてののこを見ました。それから興味をもち、辞典で調べたり、図書館へ行っては科学の本を読むようになり、夢を実現したいと思いました。